

ネットワーク情報学部 企業研修報告会

一人前になるために

10月6日、生田キャンパスした南場勝規さん、Keepas10号館で、ネットワp aliveで研修した高1ク情報学部の企業研修 野葉子さんが、質疑応答報告会が開かれた。今年度は32人の3年次生が履修し、組込みソフトウェア開発、デジタルコンテンツ販売、ITコンサルティング、Webサイト構築など、さまざまな業種の27社で研修した。当日は、約500人の1・2年次生の前で、富士通エレクトロニクスで研修した栗橋翠さん、ビットウェイで研修した本間裕さん、豆蔵で研修



▲学生のプレゼンテーション

を含めて20分のプレゼンテーションを行った。企業研修は、当学部の創設時に設置された講義で、現在までに140人を

以上の受講生を数える。受講動機は多くは、「社会に出て働くこと」に対する自信をつかむことにある。

参加した学生にとって2週間の研修は緊張の連続だったようであるが、「目標をもって自立的に行動する」などの社会人の心構えを学び、少し大人びて見え

リーディングカンパニーの採用担当が来校

業界・企業研究講座



業界のリーディングカンパニー約60社の人事採用担当者が来校し、現状と今後の展望を伝えてくれる業界・企業研究講座が11月6日から始まっている。写真。氷河期再来の就職戦線と伝えられる中、例年以上に参加者が多く、熱心に質問する姿が見られる。

キャンパス情報

【学生ユーザ対象に新メールシステム Gmail 導入】12月1日から学生のメールアドレスが変更になります。詳細はポータルサイト「新メールアドレス」で確認してください。

「セクシュアル・ハラスメント防止委員会が学生・教職員研修会を開催」

ゼミの学びを地域活性化に生かす

キャリアデザインセンター「課題解決型インターンシップ」

川崎市とキャリアデザインセンターが連携し、地域の企業や公共機関、商店街などから出された課題を解決する「課題解決（地域密着）型インターンシップ」情報を紹介しよう。

「長沢ひろば」に仮装喫茶

経済学部・徳田賢二ゼミ



◆多摩区にある長沢商店会の活性化のため、「長沢ひろば」を活用したさまざまな企画を実施している徳田ゼミの学生が10月12日、ハロウィーンイベントで仮装喫茶を開いた。子どもたちを中心に多くの来場者でにぎわいをみせた。

「キットパス」の認知度向上策

経営学部・池本正純ゼミ 新井範子ゼミ



◆60年にわたる障がい者の雇用で知られる日本理化学工業の課題「固形フォーマー『キットパス』の認知度向上」子どもにやるとを主催したりするなどして、子どもたちと保護者の反応を調査した池本ゼミの学生たちは、使うのは子どもたちが、購入する保育園の先生方や保護者に正しい知識をも



「しんゆり・芸術のまちづくり」フォーラム

アトリエプロジェクト しんゆりフードフェス



◆徳田ゼミの学生が「アトリエプロジェクト2009」と題して、芸術の街・しんゆりをアピールするため、10月31日と11月1日、アート・クラフトイベントを開催。絵画教室や陶芸教室など18団体が出店。学生たちはチラシを配ったり、子ども向けに風船やお菓子を配るなどして、会場へ誘導を図った。

ペットボトルでキャンドルナイト

商学部・前川明彦ゼミ



◆前川ゼミは、「ひとりの灯りでみんなの輪を」と題し、ペットボトルを使ったキャンドルナイトを開催。

映画関連のスイーツ企画・販売

◆生田目ゼミの学生が、12月下旬公開の映画「屋根裏のボムネンカ」に関するスイーツ企画・販売を通して、若者に「しんゆり」をPRしようと掲載。

New Ground ③ 新しい見方

小林 辰明 (経済4・ジャーナリズム研究会)

人間五十年、化天の内を比べれば、夢幻のごとくなり

平家物語の一幕である「敦盛の最期」を題材とした能の大成者・世阿弥の作品「敦盛」に出てくる一節である。人間の寿命は50年、化天（1日が人間界の800年にあたる）とされる仏教における天界の一つ）の住人に比べれば夢幻のごとく儚い。現代では作品そのものよりも、織田信長が好きだったことで有名な詞章である。

さて、専修大学は今年の9月16日に創立130年を迎えた。まだ20年程しか生きていない私にとっては途方もなく感じるが、130年とは果たして長いのか短いのか。徳川の治世は専修大学の倍、約260年続いた。京都では「千年王城」の名に相応しく、平安京への遷都から明治時代を迎えるまで、実に千年以上のあいだ天皇家の威光が輝いていた。

それらと比べると130年間というのも、夢幻とは言わなくとも短く感じるかもしれない。しかし専修大学が生き



▲ たすきをつないだ創立130年記念パレード

てきたのは、人類有史上最も激しく時代が動いた130年間であったことを忘れてはいけない。欧米諸国では第二次産業革命、日本では文明開化が席卷し、欧米に追いつき追い越せがスローガンだった1880年に開校した専修学校。2回の世界大戦時も世界大恐慌の時も、戦後の混迷の時代も高度経済成長期も専修大学はあり続け、社会への「報恩奉仕」という建学の精神を貫き通してきた。たとえ短く感じようとも、130年間の歴史には、さまざまな人たちのさまざまな思いが込められているのだろう。

その歴史の重みを実感することは、そう簡単にはできない。大抵の学生はそうだろうし、当然私もそうだ。とりあえず今は、専修大学が日本でトップクラスの歴史を持っているのを誇ることから始めていいのかもしれない。

MIZUHO

みずほ銀行

Channel to Discovery

あなただけの資産運用を「みずほ」がバックアップ。

豊富なラインアップで、お客さまの資産運用ニーズに、「みずほ」はおこたえます。



●ご相談はお近くのみずほ銀行へ。